

## 第1学年1組外国語科（英語）学習指導案

日 時：令和元年6月18日（火）第5校時

場 所：益田市立益田中学校1年1組教室

授業者：教諭 谷崎真理子

### 1. 単元名

クラスみんなやALTに、自分のことをもっと知ってもらおう！

“私の好きなこと” New Horizon English Course Book 1 Unit 3

### 2. 単元の目標

○間違いを恐れず、相手を意識しながら、自分が伝えたいことを積極的に伝えようとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○自分の好きなことや得意なことについて、適切な表現を用いて相手に分かりやすく伝える。

(外国語表現の能力)

○一般動詞の文などに関する知識を身に付けている。

(言語や文化についての知識・理解)

### 3. 学習の基盤

#### (1) 教材観

本単元では、新出の言語材料として一般動詞の文が扱われている。これまでbe動詞を用いて、「～だ」という状態について説明する英文を学習してきたが、この単元では自分や相手のことについて、一般動詞を使って説明したり質問したりする表現を学ぶことができる。

Part1は、転校生のディーパが自己紹介をしている場面、Part2とPart3は、自己紹介を聞いた咲や光太がディーパとやり取りをして、お互いのことを伝え合う場面である。Part1は、生徒が自分自身の自己紹介をするためのモデルになる。また、Part2やPart3で、疑問文や応答文、否定文を学習することで、お互いのことについて、尋ねたり、尋ねられたことに答えたりすることができ、コミュニケーションにつながる表現の幅を広げることができる。と考える。

#### (2) 生徒観

〈個人情報保護のため省略〉

#### (3) 指導観

本単元の学習を通して一般動詞について理解し、実際の会話の中で積極的に運用できる力と、相手を意識しながら自分自身のことを伝えようとする姿勢を身に付けさせたい。

最終的な単元のゴールは、「クラスみんなやALTに自分のことをもっと知ってもらうために自己紹介をして、相手からの質問に答える。」とする。校区には2校の小学校があり、その他にも校区外から入学してきた生徒もいる。入学して2か月近くたつが、お互いの事(好きなことや得意なこと)について、あまり理解しあっていない。同時期に、学級活動で、友達の良いところを見つける活動を行い、それに合わせて、英語の授業を通して、自分のことを知ってもらう学習としたい。

導入では、教科書のディーパの自己紹介文を通して、自己紹介の仕方を知る。そして、教師

のモデルを見せることで、自己紹介のイメージを膨らませたい。紹介する際には、友達が知らないだろうと思われる意外な面も英語で伝えるように促す。場合によっては、辞書を用いることも考えられる。単元を通して、帯活動で input された英文が output できるように会話を継続して取り入れる。

単元のゴールである ALT や友達に自己紹介をする際は、相手からの質問に答えることで紹介文が膨らむよう、単元を通して相手を意識した自己紹介や、やり取りになるように指導したい。

#### 4. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れず、自分が伝えたいことを積極的に伝えようとしている。  (話すこと・言語活動への取組)	自分の好きなことや得意なことについて、適切な表現を用いて相手に分かりやすく伝えることができる。  (話すこと・適切な発話)	/	一般動詞の文などに関する知識を身に付けている。  (言語についての知識)

#### 5. 単元の指導計画と評価計画

時	○目標 ・主な学習活動	評価				主な評価方法
		関	表	理	言	
1	○クラスみんなやALTに、自分のことをもっと知ってもらおう！(単元の目標) ・本単元で身に付ける技能や内容を知る。 ○一般動詞の文(肯定文、疑問文、否定文)について理解する。 ・一般動詞の文について理解し、簡単な質問に応答することができる。				○	ペーパーテスト (後日)
2 本時	○間違いを恐れず、自分が伝えたいことを積極的に相手に伝えようとしている。(本時の目標) ・ディーパの自己紹介文を参考に、自己紹介をする。	○				活動の観察 ワークシート  パフォーマンステスト (後日)
3	○いろいろな一般動詞を使って、伝えたいことをさらに広げる。 ・本文の内容を理解する。 ・動詞カルタを使って、いろいろな動詞に慣れ親しみ、発話する。 ・自分自身のことを伝えるために、教科書に載っていない動詞も用いる。				○	活動の観察

4	<p>○一般動詞を使って、相手に質問したり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容を理解する。</li> <li>・ペアで自分の好きなことを伝えあい、疑問文を用いて内容に関することを尋ねあう。</li> </ul>	○	○			活動の観察
5	<p>○一般動詞の否定文を使って、自分のことを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容を理解する。</li> <li>・ペアで自分自身のことを伝えたり、質問したりして、さらに一文加えて会話をする。</li> </ul>	○	○			活動の観察
6	<p>○自分の好きなことや得意なことについて、相手に分かりやすく説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で自己紹介し、相手の質問に応答し、紹介文を膨らませる。</li> </ul>	○	○			活動の観察 ワークシート
7	<p>○ALTに自己紹介をする。また、内容についての質問に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のことについて、ALTを意識しながら自己紹介をする。</li> </ul>	○	○			パフォーマンステスト

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- 間違いを恐れず、自分が伝えたいことを積極的に相手に伝えようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開

時間 (分)	学習活動	教師の支援	評価規準 (評価方法)
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Warm up</li> <li>・あいさつ</li> <li>・単語ビンゴ</li> <li>・英文の応答練習</li> <li>・ミニトーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学習の雰囲気づくりができるようにする。</li> <li>・単語ビンゴの際は、単語カードを表示し、単語を見つけやすいよう支援する。</li> <li>・英文の応答練習やミニトークの際は、コミュニケーションを意識するよう、向かい合わせる。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート（後日回収）</p>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標と流れを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の好きなことや得意なことについて紹介しよう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディーパの自己紹介を聞く。</li> <li>・ペアで情報共有する。</li> <li>・教師の質問に答える。</li> <li>・ペアで質問しあう。</li> <li>・ディーパの自己紹介を言い、英語で書く。</li> <li>・英文が正しいかどうか確認する。</li> <li>・ディーパの自己紹介文をリポートする。</li> <li>・教師の自己紹介を聞く。</li> <li>・ペアで自己紹介をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を知ること、本時の学習への見通しがもてるようにする。</li> <li>・教師がディーパになり、内容を理解させるため、自己紹介文を2回言う。</li> <li>・発話の際の補助とするために、黒板にキーワードを掲示する。</li> <li>・ペアで質問しあうことでやり取りを意識させる。</li> <li>・分かる範囲の英文で書くように伝える。</li> <li>・教科書を見て、正しい英文を確認させる。</li> <li>・やり取りを意識させるために、教師の質問に答えながらリポートする。</li> <li>・後に自分が自己紹介をする際の参考となるよう、教師が自己紹介をする。</li> <li>・即興で自己紹介文を言う。場合によってはメモを取ってから言わせる。</li> </ul>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>・間違いを恐れず、自分が伝えたいことを相手に伝えようとしている。(観察、ワークシート)</p>

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価表を記入し、本時の学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や友達とのやり取りから気づいたことやできるようになったこと、今後の課題等振り返るように促す。</li> </ul>	ワークシート
---	---	--	--------

(3) 本時の評価と支援

評価の観点	十分満足されると判断される生徒の具体例	概ね満足とされる生徒の具体例	支援が必要とする生徒への指導の手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<p>間違いを恐れず、相手に伝わるように必要な表現を用いて積極的に説明しようとしている。</p> <p><b>I like English. I study it every day. I like baseball, too. I'm in the baseball club. I play baseball every day.</b></p> <p>※文法的な誤りよりも伝えようとすることを重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジェスチャーを使ったり、相手の目を見たりして伝えている。</li> <li>相手の反応を見ながら伝えている。(相手が分かりづらい様子の際、OK? 等の確認をしている)</li> </ul>	<p>間違いを恐れず、内容について相手に説明しようとしている。</p> <p><b>I like English. I like P.E. I like baseball. Practice. I'm baseball club.</b></p> <p>※文法的な誤りよりも伝えようとすることを重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジェスチャーを使ったり、相手の目を見たりして伝えている。</li> </ul>	正しい文を組み立てるヒントを与えたり、単語の意味を教えたりする等の支援を個別に与える。

(4) 研究の視点

- 本時の言語活動はねらいを達成するために適切であったか。